# 「MICRO CADAM ライセンス情報取得ツール」 利用ガイド

2016年4月

Windows 版

### STEP-1 ツールのダウンロードと展開

ライセンス情報取得ツール(winmclicrep.zip)を、弊社ホームページからダウンロードしてください。 ダウンロードした「winmclicrep.zip」を任意の作業用フォルダーに展開して利用します。

#### STEP-2 利用準備

展開後、作業用フォルダーに、下図のような2つのフォルダーと7つのファイルが展開されます。



※ このツールを使ってライセンスデバイス(以下LDと略す)の情報を取得する場合、LD用のドライバーを事前に 導入しておく必要があります。このLD用のドライバーは過去に1度でもMICRO CADAM(製品版)を導入 されていれば、同時に導入されますので、その場合はあらためての事前の導入は不要です。 ただし、過去において MICRO CADAMを1度も導入したことがないコンピューターでこのツールを使う場合は 弊社営業担当者経由で事前にドライバーの入手/導入を行ってください。(MC V3.1 以下で PFK のみのライセ ンス情報を取得する際は、このドライバーの導入は不要です。)

<利用方法>

本ツールはインストール不要です。上記の2つのフォルダーと7つのファイルを同じフォルダーにコピーする だけで利用可能です。

- 利用にあたっては、以下のような方法があります。
  - 1) CD-ROM に焼いて CD-ROM から起動する
  - 2) USB メモリーメディア等にコピーして利用する
  - 3) 取得するコンピューターに任意のフォルダーを作成し、必要なファイルをコピーして利用する

#### STEP-3 ライセンスデバイス/プログラムキーボードのコンピューターへの接続

ライセンス情報取得ツールは、複数個の LD と1 個のプログラムキーボード(以下 PFK と略す)をコンピューターに 接続することにより、LD や PFK 内のライセンスを同時に確認することが可能です。

LD はひとつずつ交互に差し替えていただくか、複数個をカスケード接続(数珠繋ぎ)した状態で複数分をまとめてい ただくか、いずれかの方法で情報取得できます。カスケード接続可能な LD の個数に制限はありませんが、あまり 多くを接続すると、接続状態が悪くなり、データの取得ができない場合もあります。

### STEP-4 ライセンス情報取得ツールの起動

「mclicrep.exe」のアイコンを Windows エクスプローラーからダブルクリックする、もしくは、コマンド・プロンプトで コマンド入力して実行します。

「mclicrep.exe」を起動すると、次図のようなウィンドウが起動します。

🚽 ライセンス情報取得ソール	
機能(F) ヘルプ(H)	
1	

メニュー[機能(F)] で表示されるのは以下の3つのメニューです。

- [作成(C)] : LD及びセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-IDとを取得し、 ライセンス情報を暗号化してファイルに書き出します。
   書き出されるファイル名は、以下になります。
   LDの場合は RL+LDシリアル番号(拡張子:bin)
   S-ROMの場合は RL+ROM+シーケンシャル番号(拡張子:bin)
   LDをカスケード接続した場合は、LDごとに複数のファイルに分かれて作成されます。
   [印刷・表示(D)]: LDおよびセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-ID情報とを 表示したり、印刷したりする事が可能です。
- [マージ(M)] : 作成された複数の取得情報ファイルの内容を1つのファイルに結合できます。

## STEP-5 取得情報ファイルの作成

[作成(C)]を選択すると下図の画面が表示されます。

レホ。ートの作成			
格納先の指定			
C:¥Lic			参照
\$°-}番号	1	□ 結果を表示	
実行			++\\tr\

ライセンス取得情報ファイルの格納先の初期値は、ツールを起動したフォルダーと同じフォルダーになります。 他のフォルダーに格納したい場合は、参照... ボタンにより任意のフォルダーを指定し直してください。

※ PFKを接続してS-ROMの情報を取得する場合は、PFKの接続ポート番号の設定がどうなっているか確認の

上、以下の STEP に進んでください。

(ポート番号は、Windows 版では初期値1、AIX 版では初期値 0 となっており、お客様独自で MCADAMn.SYS の MCLPFK パラメーターで設定を変更されている場合は、それに合わせてください。)

格納先の指定が終わりましたら、実行 ボタンにより、ライセンス情報と Target-ID の取得を行ってください。

レホ°ートのノ作成	
次の名前では。いを作成しました。	
C: ¥LIC¥RL .BIN	
	τ.
•	4
次のは。ことを作成	終了

引き続き、別のLDの情報を取得する場合は、LDを差し替えてから、「次のレポートを作成」を行ってください。 すべてのLDの情報収集が終わりましたら、「終了」を押してこのウィンドウを閉じます。

## STEP-6 取得情報ファイルの表示・印刷

[機能(F)]→[表示・印刷(D)]を選択すると下図の画面が表示されます。

┣ ファイルを選択			×
ファイルの場所(I):	\mu Lic	•	➡
RL001234.BI	N		
RL002244.BI	N		
RL005678.BI	N		
RL039010.BI	N		
RL051515.BI	N		
ファイル名(N):			開((0)
ファイルの種類(T):	*.BIN	•	キャンセル

内容を確認したい取得情報ファイルを選択し、開く(C) を指定すると、以下のような取得されたライセンスと Target-ID の情報が表示されます。

とは*-トの表示> - C:¥MyWORK¥4_Document¥D_WEB¥Lic¥RL002244.BIN			
セキュリティー装置内容報告レオ 処理日 : 201 13:36 TargetID :	°−− ►		*
LD情報 U/J7編号: <10':->+   WC Hellx File Server MC Hellx Design & Drafti WC Hellx Design & Drafti WC Hellx XPD Server WC Hellx XPD Server WC Hellx XPD Standalone WC Hellx XPD Standalone WC Hellx XPD Standalone WC Hellx MD t+2y7-TOUM素類就>	出荷日:2001 (), ・シュン V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3	種別:通常 (154) 1 (154) 1 (154) 1 (154) 1 (154) 1 (155) 1 (050) 1 (050) 1 (050) 1 (050) 1 (050) 1 (050) 1	
<			+
	閉じる	印刷の設定	印刷

印刷の設定 により、印刷先のプリンターの指定、印刷の向き、用紙サイズ等を設定し、 印刷 ボタンにより出力します。処理が終了しましたら、 閉じる によりウィンドウを閉じます。

# STEP-7 取得情報ファイルのマージ

複数の取得情報ファイルを1つのファイルに統合できます。

[機能(F)]→[マージ(M)]を選択すると下図の画面が表示されます。

レポ -トのマージ	
マージ元のファイル名	
C:¥Lic¥RL .BIN	合用加
C:WLicWRL .BIN	
C:¥Lic¥RL .BIN	
	Ŧ
× >	
マージ`先のファイル名	
C:¥Lic¥MCLICREP.BIN	参照

ウィンドウ下部で結合先のファイル名を指定した後、追加 ボタンで対象となる取得情報ファイルを1つずつ指定して、複数の取得情報ファイルを1つのファイルに結合できます。

結果は、STEP-6 で説明した[表示・印刷(D)]により内容の確認・印刷ができます。

/ 중 <レポートの表示> - C:¥Lic¥MCLICR	EP.BIN		×
>>>>> (C:¥Lic¥RL .BIN セキュリティー装置内容報告レオ 処理日 : 201 13:36 Target ID :	) K~ >		•
LD情報 50万時号: 〈ゼジュール名〉 Helix MC Helix File Server MC Helix Plot Server MC Helix Design & Drafti MC Helix RPD Standalone MC Helix RMI	出荷日: 200 V4R3 V4R3 V4R3 V4R3 Ng V4R3 V4R3 V4R3 V4R3	離別:通常 <1→→→ <う/セン波 (1BM) 1 (1BM) 1 (1BM) 1 (1BM) 1 (1BM) 1 (1BM) 1 (CSC) 1 (CSC) 1	ш
セキュリティーROM情報 〈セキュリティーROM未接続〉 <<<<<(C:¥Lic¥RL .BIN	)		
>>>>> (C:¥Lic¥RL .BIN セキュリティー装置内容報告レオ 処理日 : 201 13:36 TargetID :	) K~ h		
LD情報 ジリアル番号: <モジ <sup>ィ</sup> ュール名>	出荷日 : 200 〈バージョン〉	種別:通常 〈オーナー〉 〈ライセンス数〉	<del></del>
	閉じる	印刷の設定	印刷

(マージ結果の例)

処理が終了しましたら、閉じるによりウィンドウを閉じます。

※LD/PFKの接続状態が悪いと情報が取得出来ない場合がありますので、ご注意ください。

AIX 版も運用手順は、Windows 版と同様です。

ただし、インストール前の準備、およびセッティング・起動の際に OS の違いによる相違点があります。

1) インストール前の準備

Windows 版と同様に弊社ホームページから、tar 形式のファイル(mclicrep.tar)をダウンロードします。 ダウンロードしたファイルを展開して利用します。

展開後に利用するメディアによって使用方法は異なりますが、以下は AIX コンピューターに展開する場合の 手順を説明します。

- 1. aixterm または dtterm のウィンドウを画面に表示します。
- アーカイブの導入先となる任意のディレクトリーを作成します。
   /usr/の直下に、/mchelix/admin という導入先となるディレクトリーを作成します。
   (以下、この例では/usr/mchelix/admin に導入する前提で説明を進めます) # mkdir -m 755 /usr/mchelix/admin
- 事前にダウンロードしたファイルを導入先ディレクトリーに移動します。
   # mv mclicrep.tar /usr/mchelix/admin
- カレント・ディレクトリーを導入先ディレクトリーに切り替えます。
   # cd /usr/mchelix/admin [改行]キー
- 5. tar 形式からの展開

# tar -xvf mclicrep.tar [改行]キー

ファイルを展開すると、以下のような2つのフォルダーと9つのファイルがカレント・ディレクトリーの直下の サブディレクトリー「mclicrep」に作成されます。



※ 展開した後は mclicrep.tar は不要ですので、削除してください。

- 2) ライセンス情報取得ツール(AIX版)の起動
  - aixterm または dtterm のウィンドウから次のコマンドを入力して、ライセンス取得ツールを起動します。
     # ./mclicrep [改行]キー
- 3) 起動後の操作手順

ライセンス情報取得ツール起動後の操作手順は Windows 版に準じますので、Windows 版の説明をご参照 ください。

細かい点についてはインストールする AIX 機の環境によって異なりますので、個々の環境の違いによる AIX の コマンドの実行は、AIX のルールに準じて対応してください。

以上

このツールに関するお問い合わせは、下記窓口までメールにてお願いいたします。

株式会社 CAD SOLUTIONS

<MICRO CADAM カスタマーセンター>

